

ほっぽ 北歩くんが行く



交流が広がる分科会



交流が広がる分科会



生活の絆が深まる分科会

北播磨の魅力発信は 僕にお任せ！



生活の絆が深まる分科会



文化が花開く分科会



文化が花開く分科会



恵み豊かな環境が持続する分科会



恵み豊かな環境が持続する分科会



元気な産業が興る分科会



元気な産業が興る分科会

交流が広がる分科会

～「まちむら交流」で活力を育む地域をめざします～

北播磨の魅力を内外へ発信



「ふれあいの祭典」
ふれあいフェスティバル
in 北播磨

北歩くんの活躍

北播磨地域ビジョン委員会のイメージキャラクター「北歩（ほっぽ）くん」が、地域のイベントに参加し、イベントをPRするとともに、北播磨地域ビジョンの理念の発信に努めています。

「嬉野春のフェスティバル」（令和元年5月4日（土））、ふれあいの祭典（令和元年10月26日（土）27日（日））、「はりちゅうの日」（令和元年11月17日（日））などの地域イベントに参加しました。



【三木鉄道廃線跡ウォーク】

新たな北播磨地域の魅力を再発見し地域内外に発信するとともに、中播磨地域ビジョン委員との交流イベントとして新たな交流の輪を作ることをテーマに「三木鉄道廃線跡地ウォーク」を実施しました。平成20年に廃線となった三木鉄道跡地を活用した4.8kmの遊歩道「別所ゆめ街道」、そこから続く廃線敷をJR加古川線厄神駅まで（計7.5km）歩きました。帰りはJR加古川線・神戸電鉄粟生線に乗り、電車の旅を楽しみました。（令和元年10月22日（火・祝））



「別所ゆめ街道」を歩く



出発地
三木鉄道ふれあい記念公園



別所長治公ゆかりの法界寺



旧駅舎（休憩所）



愛宕山古墳



廃線敷（加古川市）

【ふるさと北播磨発見！】

兵庫県生きがい創造協会の藤森泰宏氏を講師にお迎えし、北播磨地域の方言や地名から、地域の歴史や慣習を学ぶ講座「ふるさと北播磨発見！2019」を開催しました。日ごろ何気なく使っている私たちの播州弁、呼びなれた地名などについて実際に声に出して楽しく学びました。（令和元年12月13日（金））



生活(くらし)の絆が深まる分科会

～家族・地域・生活(くらし)の絆を深めるとともに、絆の力で安全・安心を支える地域をめざします～

防災意識の向上と地域のつながり

【防災研修会】

阪神高速震災資料保管庫、神戸市東遊園地にある「慰霊と復興のモニュメント」「1.17希望の灯り」、兵庫県広域防災センターを見学する防災研修会を実施。震災資料保管庫では、阪神・淡路大震災で破損した阪神高速道路橋脚の実物を見学、兵庫県広域防災センターでは田中健一防災教育専門員の講話を聞いた後、施設見学、起震車による地震体験をしました。防災の原点は「自助」であること、防災の基本は「災害を知ること、己を知ること」であること、災害に備えるには日頃からのコミュニティづくりや防災への知識を持つことが大切であることを学びました。(令和元年9月4日(水))



防災弁当の試食(昼食)



震災資料保管庫



起震車体験



田中専門員による講話



【防災啓発ブース出展】

「ふれあいの祭典 ふれあいフェスティバル in 北播磨」と「みらフェス」で防災啓発ブースを出展。防災ワークショップを実施、防災への意識喚起を図りました。

【ふれあいの祭典 ふれあいフェスティバル in 北播磨】

他分科会のビジョン委員の応援も得て防災啓発活動を展開。地震の時に役立つ新聞スリッパとビニール袋レインコートづくり、長期保存ができてしかも美味しい防災弁当(「2019災害食大賞」金賞、銀賞、銅賞、ハラル部門金賞)の紹介など、便利で役立つ情報を楽しく伝えました。

(令和元年10月26日(土))



レインコート出来上がり



【みらフェス】

西脇市茜が丘複合施設Miraie「みらフェス」で、県立西脇北高等学校と協力して防災啓発活動を行いました。2019災害食大賞受賞の非常食や、段ボールでつくる簡易トイレなどを展示しました。併せて、地震の時にガラスや雨、寒さから身を守る「新聞スリッパ」「ビニール袋レインコート」づくりを実施しました。(令和元年10月27日(日))



ビジョン委員会ブース

文化が花開く分科会

～芸術・文化を暮らしに活かす地域をめざします～

音風景による北播磨の魅力発信

【北播磨の音風景50選】

ビジョン委員が地域の自然や生活、伝統文化の「音」を収録し、写真とコメントを添えて「北播磨の音風景50選」を作成。インターネット(県ホームページ、YouTube)を通じて発信し、地域の魅力の再発見と地域外からの来訪者の増加を図ります。完成した50選はリーフレットにまとめイベントなどで配布しました。



【“音風景”を巡るツアー】

「北播磨音風景50選」の広報活動の一つとして、「ビジョン委員が選んだ“音風景”を巡るツアー」を3回シリーズで実施。地域内外の多くの人々を対象に、実際の風景とともに「北播磨音風景50選」を楽しみ、北播磨地域の魅力を実感し味わうツアーを展開しました。

【第1回 三木市・小野市】

- 法界寺絵解き 見学聴講
 - 三寿ぐ刃物 刃物研ぎ 見学
 - 自衛隊青野原駐屯地 見学 昼食
 - 住吉神社 車窓から見学
 - 土井竹工芸 工房見学
 - 国宝浄土寺 拝観
 - ひまわりの塔 車窓から見学 竹工芸工房
- (平成31年4月17日(水))



【第2回 西脇市・多可町】

- 杉原紙研究所 紙すき 見学 散策
 - 西脇市旧来住家住宅 見学 邸内で昼食
 - 皮革工房 見学
 - 播州織工房館 見学
 - 西林寺あじさい園 散策
 - 岡之上美術館・経緯度標 見学
 - JR加古川線乗車体験
- (日本へそ公園駅～西脇市駅)
- (令和元年6月22日(土))



西林寺
あじさい園

【第3回 加西市・加東市】

- 鷯野飛行場跡地『紫電改』見学(交流会開会)
 - 熱気球フライト準備 見学
 - 北条鉄道 法華口駅 見学
 - 玉丘史跡公園古墳 見学
 - 鬮竜灘 散策
 - 昼食(交流会・活動PR大会)
 - 鬮竜灘
 - 国宝朝光寺 つくばねの滝 見学
 - 監査廊見学 鴨川ダム散策(交流会閉会)
- ※今回は阪神北ビジョン委員会との交流研修会を兼ねました。
- (令和元年11月19日(火))



恵み豊かな環境が持続する分科会

～北播磨が持つ豊かな自然・生態系の調和した暮らしが持続する地域をめざします～

美しい自然環境を次世代へ継続するために

自然環境を五感で味わう体験に取り組み、美しい自然を守る思いを育む活動を実践しています！

【(第1回)自然を食べよう！2019春】 【(第2回)自然を食べよう！2019秋】

北播磨の豊かで安全な自然を、見て、触って、匂って、食べて、五感で味わうイベントとして、「摘み菜を伝える会」の摘み菜伝承師藤井文子さんを講師に迎え、嬉野台生涯教育センターを会場に、ヨモギやオオバコなど身近な食べられる野草を摘み、ピザに焼いて味わう「摘み菜体験」を実施しました。

第1回は大人の方々、第2回は小学生や小さい子ども達を対象に実施しました。摘み菜会場の「冒険の小川」付近は、最近減りつつある在来種の野草が多く自生しており、「野草」の宝庫のような土地です。高温の石窯で香ばしく焼き上げたピザを皆で美味しくいただくと、予想外のおいしさに「家でも作ります！」の声が続出。子ども達からも「野草摘みも、ピザ作りも、みんなで食べるのも、どれも楽しかった。また来たいね！」という声があがりました。

(平成31年4月30日(火)・令和元年11月16日(土))



【利き水会】

地域の水を飲み比べる「利き水」体験を行いました。

- 「おのみーず」(小野市)
- 「三木市水道水」
- 「鴨川清水」(加東市)
- 「自然織りなすへその水」(西脇市)
- 「兵庫の保存飲料水」(兵庫県企業庁)



普段何気なく飲んでいる水に意識を向け、北播磨の豊かな自然が生み出す地下水や水道水のおいしさを、改めて認識することができました。水への意識から北播磨の自然環境保全への意識高揚を図ります。(「自然を食べよう！2019春・秋」と同時に開催)

【ふれあいの祭典 ふれあいフェスティバルin北播磨】



摘み菜(野草)をトッピングしたパンケーキの試食会と北播磨の水を飲み比べる「利き水会」を同時に実施するブースを出展しました。来場者に北播磨の豊かな自然を「食べる」ことで実感してもらい、環境保全への意識向上を図りました。どちらも来場者が絶えず、盛況のうちに終わることができました。

(令和元年10月27日(日))



元気な産業が興る分科会

～多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域をめざします～

安全・安心な有機農業の普及をめざして

【保田ぼかしによる健康野菜づくり勉強会】

神戸大学名誉教授の保田茂氏が開発した「HYS低温発酵有機資材 保田ぼかし」有機農法の勉強会を、平成31年4月から令和元年12月まで年8回のシリーズで開催しました。

昨年度より継続して学ぶ方も多く、農薬や化学肥料についてさらに深く学ぶとともに、有機農業による美味しく安心・安全な野菜づくりの理念と方法を学習し「保田ぼかし」を用いた有機農法の普及を図りました。

《勉強会の内容》

- ① 有機農業の考え方と方法 (4月)
- ② 土づくりの理論と方法 (5月)
- ③ 堆肥の効用と利用 (6月)
- ④ ぼかしの効用と利用 (7月)
- ⑤ 野草の効用と利用 (8月)
- ⑥ 土と野菜の関係 (9月)
- ⑦ 化学肥料と農薬の問題点 (11月)
- ⑧ 有機農業の時代 (12月)



保田ぼかしの作り方講習
(平成31年4月18日(木))

【人と環境に優しい有機農業講座】

神戸大学名誉教授保田茂氏・兵庫県農政環境部農業改良課参事 西村いつき氏(交渉中)を講師に迎え「人と環境に優しい北播磨有機農業講座」を開催します。(令和2年3月6日(金))

「有機農業」の考え方・「保田ぼかし」の作り方や施肥の方法から具体的な野菜の栽培方法に至るまで、有機農法について楽しく学び実践につなげる講座です。



保田先生
(前回の様子)



西村先生
(前回の様子)



【北播磨「農」と「食」の祭典】

「ふれあいの祭典・北播磨『農』と『食』の祭典」(令和元年10月26日(土)～27日(日))県立三木総合防災公園)に有機野菜のブースを出展し「保田ぼかし」についてのパネル展示やミニ講座、「保田ぼかし」を用いて有機農法で栽培した野菜の販売・試食を行いました。生産者だけではなく、消費者にも健康を育む有機農法で作る野菜の必要性を知ってもらうことで、北播磨地域の安全安心な有機農業の普及に取り組みます。



試食の焼き芋



出展ブース

【有機農業圃場現地見学会】

保田ぼかし有機農法実践農家の圃場見学会を実施しました。圃場の見学先は、南あわじ市の玉ねぎ農家小峰農園、多種多様な野菜を育てる東農園、神戸市のナチュラルファーム大皿農園の3か所です。3人のお話から「次世代へつなぐ農業」「安全な食の礎となる農業」への真摯な思いを学びました。また、バス内では、加東市で実践する「成苗の会」会長竹内さんと神河町の「有機農業を楽しむ会」代表吉岡さんから、保田ぼかし有機農法普及活動について、農薬化学肥料の危険性、今後の農業の方向、消費者と生産者の連携について、講話いただきました。

(令和元年12月9日(月))



小峰農園



東農園



大皿農園

北播磨地域夢会議

北播磨地域の将来像の実現に向けた取組等について、地域ビジョン委員と地域の方々が集まり、意見交換を行う「北播磨地域夢会議」を毎年開催しています。

令和元年度は、北播磨地域各市町から6団体による未来ある地域づくりの実践発表と全体意見交換を行い、多様な人材が多彩な文化と豊かな暮らしを築く“ふるさと北播磨の輝く未来”の創造に向けて参加者全員で語り合います。

【令和元年度テーマ】 ～人々が躍動し地域が輝く北播磨の創生～

- 1 日時 令和2年2月8日(土) 13:30～16:00
- 2 会場 三木市立市民活動センター
- 3 内容
＜第1部＞北播磨の未来ある地域づくり活動の事例発表



◆ 西小おやじの会 (西脇市)

西脇小学校ならではの思い出づくり



◆ 三木城下町まちづくり協議会 (三木市)

三木の人々の記憶に残るすてきな“まちづくり”



◆ 県立小野工業高等学校生活創造科 (小野市)

小野工業から広げよう 地域創生の輪



◆ 加西市立北条小学校歴史ガイド隊 (加西市)

ふるさとへの愛着心を持ち豊かな心を育てる活動



◆ NPO 法人加東市国際交流協会 (加東市)

地域特性を活かした
国際色豊かなコミュニケーション



◆ みつばグループ (多可町)

小野高校生との商品開発で地元食材の新たな発信



＜第2部＞全体での意見交換

ファシリテーター 兵庫教育大学大学院教授 田中 雅和



※「残しておきたい“ふるさと北播磨”写真コンテスト優秀作品」の展示

北播磨地域ビジョン

“ひょうごのハートランド”をめざして

北播磨地域ビジョン委員会では、地域の将来像である、人とまちが元気にきらめき、魅力にあふれた“ひょうごのハートランド”をめざし、各委員が地域像ごとに、5つの分科会に分かれて、様々な活動を行っています。

交流が広がる

元気な産業が興る

生活(くらし)の絆が深まる

ひょうごのハートランド

文化が花開く

恵み豊かな環境が持続する



ほっぽ「北歩くん」
北播磨地域ビジョン委員会
イメージキャラクター

北歩くんの紹介

北歩くんは、北播磨の地形がベースで、かぶと虫がモデルです。

- 【ユニフォームの色が表すもの】
- 「緑」・・・豊かな自然
- 「青」・・・加古川などの清流
- 「黄」・・・住民の元気や活気
- 「赤」・・・ビジョン委員の熱い思い

第9期北播磨地域ビジョン委員会

委員長 内藤 忠



北播磨地域は、豊かな自然、日本一の酒米をはじめとする農畜産物や、播州織・金物製品などの地場産業、国宝建造物など多彩な歴史・文化遺産にも恵まれています。今後もこの地域の個性を生かした豊かな発展を願っています。

しかし地方の人口や経済は縮小の一途を辿っており、今後の復調は困難な状況で、最も懸念するのは「地域力の低下」です。これを防ぎ、次の世代を担う人々が自分自身や地域に「誇り」を持ち「希望」を抱けるようにしなければなりません。

少しでも良い形で地域を次世代へとつなぐため、私たち北播磨地域ビジョン委員会は5つの分科会に分かれ、活力ある北播磨地域の創造をめざし、仲間と共に実践を重ねてきました。

現在のビジョン委員には若い世代をはじめ各世代からの参加があり、来期も将来世代も含めた幅広い人材の参画を得て、北播磨地域の誇りを共有し地域内外へ発信できればと考えております。未来ある輝く北播磨地域にするために、地域づくり活動を積極的に推進していただける方のご参加をお待ちしています。

発行 令和2年2月
北播磨地域ビジョン委員会（北播磨県民局総務防災課ビジョン担当）
〒673-1431 加東市社字西柿1075-2
TEL(0795)42-9513 FAX(0795)43-0169
ホームページ [北播磨地域ビジョン委員会](#) [検索](#)

01北播P2-014A4